

# 情報公開文書

2024.5.1

Ver.1

## 1. 研究の名称

環境省エコチル調査京都ユニットセンターのデータを利用した、子どもの記憶力の発達に影響を及ぼす睡眠を中心とする生活習慣要因の探索的検討

## 2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

## 3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

### 1) 研究代表機関

同志社大学赤ちゃん学研究センター 副センター長/嘱託研究員 渡部 基信

### 2) 共同研究機関

京都大学大学院医学研究科 エコチル調査京都ユニットセンター センター長 中山 健夫

## 4. 研究の目的・意義

エコチル調査は、妊娠・生殖、先天奇形、精神神経発達、免疫、アレルギー、代謝・内分泌の各分野で環境と子どもの健康に関わる仮説を設定し、指標となるアウトカムを測定するとともに、化学物質への暴露評価と併せてそれ以外の環境要因、遺伝的要因、社会要因、生活習慣要因などの交絡因子・修飾因子についても検討を行うべく、胎児期から小児期までをコホート研究により経時的に観察する調査です。本研究では、エコチル調査の一環として京都ユニットセンターが収集した精神神経発達検査と質問票調査のデータを利用し、子どもの記憶力の発達に影響を及ぼす生活習慣要因を、先行研究で関連が指摘されている睡眠を中心に探索的に明らかにすることを目的とします。子どもの記憶力をどうすれば伸ばせるかという問題は社会的関心が高いにも関わらず、科学的な裏付けが十分とは言えず、養育者は混乱を招く多くの情報にさらされてしまっている状況です。本研究は、子どもの記憶力の発達に影響する生活習慣要因についての科学的知見を提供することでそういった状況に一石を投じ、社会に寄与できると考えています。

## 5. 研究実施期間 研究機関の長の実施許可日から 2026 年 3 月 31 日まで

## 6. 対象となる試料・情報の取得期間

エコチル調査京都ユニットセンターおよび同志社サブユニットセンターの詳細調査に参加されている方の、2012 年 1 月 1 日-2022 年 12 月 31 日のデータを利用します。

## 7. 試料・情報の利用目的・利用方法

氏名や住所等は、本研究のお知らせを郵送するために利用します。

質問票データおよび精神神経発達検査データは、睡眠と生活習慣要因の関連を探るために利用します。

京都ユニットセンターのデータは、同志社大学赤ちゃん学研究センター内の同志社サブユニットセンターで閲覧され、同志社サブユニットセンター内で解析されます。

提供元：京都大学大学院医学研究科エコチル調査京都ユニットセンター

京都市左京区聖護院河原町 53

責任者：中山 健夫

責任者の連絡先：075-366-7400

8. 利用または提供する試料・情報の項目  
保護者氏名、参加児氏名、生年月日、性別、住所、電話番号、メールアドレス  
質問票データ（対象者の居住地などの基本属性、食事（食物摂取頻度など）、職業、妊娠歴、合併症、既往歴、家族の既往歴、生活習慣（運動、睡眠など）、ストレス度（震災ストレスを含む）、性格、社会経済状態、社会環境、居住環境等）  
精神神経発達検査データ（新版 K 式発達検査 2 歳、4 歳時）
9. 利用または提供を開始する予定日  
2024 年 6 月 1 日
10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名
  - 1) 同志社大学赤ちゃん学研究センター 副センター長 / 嘱託研究員 渡部 基信
  - 2) 京都大学大学院医学研究科 エコチル調査京都ユニットセンター センター長 中山 健夫
11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
  - 1) 同志社大学赤ちゃん学研究センター 副センター長 / 嘱託研究員 渡部 基信
  - 2) 京都大学大学院医学研究科 エコチル調査京都ユニットセンター センター長 中山 健夫
12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法  
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。
13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法  
他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。
14. 研究資金・利益相反
  - 1) 研究資金の種類および提供者  
京都大学のエコチル調査の運営費交付金によって実施されます。
  - 2) 提供者と研究者との関係  
特にありません。
  - 3) 利益相反  
利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。
15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
  - 1) 研究課題ごとの相談窓口  
京都大学大学院医学研究科 エコチル調査京都ユニットセンター 金谷 久美子  
(Tel) 075-751-4182 (E-mail) Kanatani.kumiko.2r@kyoto-u.ac.jp
  - 2) 京都大学の苦情等の相談窓口  
京都大学医学研究科 総務企画課 研究推進掛  
(Tel) 075-753-9301 (E-mail) 060kensui@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
16. 外国にある者に対して 試料・情報を提供する場合

該当ありません。